

多職種合同研修会への薬剤師としての参加報告

むつ下北薬剤師会 広報・情報委員会 細川 智弘

令和7年3月15日の土曜日に、下北文化会館で行われた多職種合同研修会に薬剤師として参加してきました。

その研修会では訪問薬剤管理について話し合われる時間があり、私は薬剤師が訪問薬剤管理でどういったことができるのかという内容を中心に発表しました。どのようにすればお薬を飲んでもらえるかという問いに対してはおくすりカレンダーの使用が効果的であることや、利用者様によっては日付を書いたりすることも有効である旨を伝えました。また、訪問時の聞き取りで副作用が疑われる症状があった場合には医師やケアマネジャーや訪問看護師に報告書で伝えているなどの業務内容についても話をしました。必要であれば毎週1回薬剤師が訪問することができることを伝えたところその事実を知らなかった参加者がいたため、薬剤師が訪問薬剤管理で活躍できる場面は広がる可能性がまだまだあるのではないかと感じました。

この研修会には薬剤師以外にも様々な職種の方々が出席されていて、薬剤師やケアマネジャーや訪問看護師以外にも救急救命士の方なども参加されていました。その救急救命士の方の発表もあり、実際の現場でどういったことが起こっているのかという普段知ることのできない内容を聞くことができ、とても勉強になりました。その後には薬剤師以外の職種の方とのディスカッションの時間が設けられ、大変有意義な研修会を受けることができました。

医療費の削減などの観点もあり、訪問薬剤管理の需要は今以上に増してくると感じています。外来での投薬業務では知り得なかったことが訪問薬剤管理では多く知ることができます。今以上に多くの方に利用していただけるよう、外来患者様はもちろんのこと、医師や看護師やケアマネジャーを始めとする多職種の方にも積極的に薬剤師の存在意義をアピールすることが大事であることを再認識できた時間でもありました。今後もこういった研修会に参加することで薬剤師の存在意義を伝えていきます。